

昌一金属支部第57回定期大会 外注化・非正規職化 絶対反対！



全国金属機械労働組合 港合同
 大阪市港区南市岡3 6 26
 TEL 06 6583 4858
 FAX 06 6583 4600



(上) 中崎委員長の挨拶
(下) ご出席いただいた来賓の皆さん



私たち昌一金属支部は九月二日(金)十三時三〇分から、田中機械ホールにおいて第五七回定期大会を開催しました。

まず〇副委員長の開会あいさつで戦争情勢に触れ、「労働者・市民・学生

の怒りがあふれ出している中で、労働組合が先頭立って闘っていくことが求められている。定期大会を成功させ団結を強化してがんばっていきましょう。

れ、「労働者・市民・学生の怒りがあふれ出している中で、労働組合が先頭立って闘っていくことが求められている。定期大会にも地域から多くのご来賓に出席を頂きました。

「と挨拶。議長を選出した後、N委員長から主催者挨拶で年四大闘争を軸に、人員が厳しい中でパート導入の提案があったが即座にダメだと言いつつたことを報告しました。

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

窓口などはもう半分が非正規になっていく。賃金は上がらず、権利も前進しない。大阪市は、都構想は反対と決まったのにまたぞろ提案が出てくる。

すべてが民営化 下水道、ゴミ、地下鉄、水道 こんな状態で労働者の賃金上がるはずもない。昌一金属の問題と根っこは同じ。心を一つにして闘っていく事。三年後、六〇周年という大きな大会に向けてがんばってほしい」と挨拶をいただきました。

全日建連帯労組関西生コン支部の福嶋執行委員は、「安倍政権の暴走が止まらない。特定秘密保護



法「安保関連法」参院三分の二勢力、数の力で労働法までやろうとしている。参院選では沖縄の民意を示した。福島では原発、反TPPで有権者の民意を示した。安倍政権は実は足元強くない。労働組合が力をつけ直さないといけない。関生では人材育成に力を入れて

いる。具体的な学習と実践を進めていく」と挨拶をいただきました。

朝鮮総聯西大阪支部の沈基鳳委員長は「常任委員会と在日同胞を代表して、民族教育に力を注いで、民族教育に感謝。八月十七日には朝鮮学校

四力所で窓ガラスを割られるなどした。国際人権規約、憲法があっても在日差別がある。朝鮮学校への補助金排除。厳しい情勢だが、昌一金属支部と団結して乗り越えていきたい」と述べられました。その他にも港合同の各支部や全国の友好労組、支部OBの皆さんから祝電・メッセージが寄せら

れました。本当にありがとうございました。

前半の最後に、N委員長から、今年七月から組合員になった二名が紹介されました。

休憩をはさんで議事に入りました。年間総括、地域闘争の現状、秋冬・春夏闘争の経過、会計報告、活動方針を執行部から提起して、質疑応答へ。

情勢や会計、方針をめぐって計七本の質疑が出されました。書記長答弁を行った後、議案を採択しました。人事についても、昨年は書記長対立選挙となり全体も信任投票を行いました。今年も定数通りということ拍手で新



体制が承認されました。
閉会挨拶を〇副委員長
から行って、最後に大塚
執行委員のインターナシヨ
ナル斉唱と団結ガンバロー
で締めくくりました。
十七時からの交流会に
は、再び地域のご来賓の
皆さん、そして各支部の
仲間、支部OBの皆さん
に集まっていたいただき、レ



ストラ「地底旅行」の
地ビールと美味しい料理
で楽しい時間を過ごしま
した。
今大会は、昨年の副委
員長の管理職登用や春闘
での「パート導入」提案、
そして現場でのトラブル
や経営の踏み込みをどう捉
えるのかをめぐる重要な
大会でした。それを今日



の恐慌と戦争情勢下で、
安倍政権による改憲と労
働法制改悪攻撃であり、
外注化と非正規職化攻撃
であるとハッキリさせて
きました。だからこそ労
働組合をめぐる攻防になっ
ているのです。
我が支部は、半世紀を
超える闘いの歴史を踏ま
えて、外注化・非正規職



化攻防としてはじまった、
労使の力関係をひっくり
返そうとする策動に、職
場の団結を基礎に、もっ
とも労働組合らしく絶対
反対で闘い抜きます。
共になげばりましょう。
昌一金属支部 K

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！